

日本産酒類海外展開支援事業

事業の目的

- 酒類事業者による、日本産酒類のブランディング、インバウンドによる海外需要の開拓といった日本産酒類の高付加価値化や認知度向上に向けた取組を支援することにより、日本産酒類の輸出拡大を図る。

現状把握、課題

- 国税庁では、日本産酒類の更なる輸出拡大に向け、販路開拓支援、認知度向上等を強化している。
- そのためには、酒類事業者による取組として、高付加価値化とそれに見合った価格設定、そのためのブランド戦略、インバウンドによる海外需要の拡大が不可欠であることから、それら取組を支援する必要がある。

インプット (資源)

アクティビティ (活動内容)

アウトプット (活動目標)

アウトカム (成果目標)

インパクト (政策効果)

○予算の確保

令和3年度予算：7.0億円

令和4年度予算：7.0億円

○日本産酒類の輸出促進のため、以下の取組に対し補助

(1) 酒類事業者による商品等の高付加価値化やブランド戦略策定の取組

(2) 酒類事業者による酒蔵ツーリズムプラン策定、他産業との連携に係る取組

○支援事業の採択

[令和3年度]
応募230件
採択109件(活動実績)
(活動見込：110件)
※令和4年度
活動見込：109件

支援事業の採択に当たり、
・国税庁による審査及び
・外部アドバイザーによる評価により、事業目的に照らし実効性の高い事業を選定している。

○日本産酒類の高付加価値化や認知度向上

(成果目標)

- ①補助事業者が補助金交付申請時に設定する事業KPIについて、事業実施年度末に達成した採択事業の割合を80%以上とする。
- ②2025年(令和7年)までに清酒、ウイスキー、本格焼酎・泡盛の輸出金額を、それぞれ600億円、680億円、40億円とする。

(成果指標)

- ①の割合
・令和3年度：64.2%(達成度80.3%)
・令和4年度：令和5年度集計予定
- ②の輸出金額
・令和3年度：令和7年度集計予定
・令和4年度：令和7年度集計予定

○日本産酒類の輸出拡大を通じた酒類業の更なる発展

○地域への誘客促進を通じた地域経済の活性化に寄与